

平川のこの人

広報ひらかわでは、様々な分野で活躍する平川市にやかりのある人や団体を紹介します。

今回は・・・

かな
齋藤 果那さん（柏木農業高校3年）



大会で友人や家族に
応援してもらえるのが
嬉しいです！

＊プロフィール＊

柏木農業高校ウエイトリフティング部所属。弘前市在住。今年の「第77回青森県高校総合体育大会」の重量挙げ女子45キ口級で県高校新記録を樹立し優勝した。6月21日から山形県で行われた東北大会でも大健闘し、3位入賞を果たした。



青森県高校総合体育大会の様子

Q ウエイトリフティングを始めたきっかけは？

中学生の時、陸上部の先生に「体幹が良いからウエイトリフティングが向いている」と勧められて興味を持ちました。その後、実際にウエイトリフティングを体験し、できる実感があり入部を決めました。

Q ウエイトリフティングの楽しいと思うところは？

練習で行う腹筋や足上げ腹筋などの筋力トレーニングが好きです。筋トレをすると重いバーベルを持ち上げることができるようになるので一石二鳥です。

Q 今回、東北大会に参加してみてどうでしたか？

東北大会は慣れない雰囲気でもとても緊張しましたが、家族や友人の応援が糧になりました！ポジティブに「自分是可以る！」と信じて競技に挑みました。

Q 今後の目標を教えてください。

日々の練習で体の動きを正確にできるように訓練し、大好きな筋トレでさらに力をつけたいです。今後はインターハイが控えているので、大会に向けて準備しようと思います！

青森県外在住の中学生のみなさんへ 「青森で青春はいかがですか？」 柏木農業高校が全国から生徒を募集します

県立柏木農業高校では令和5年度入学者選抜から、全国からの生徒募集を開始しました。自然豊かな平川市にある柏木農業高校で高校生活を送ってみたいという県外在住の中学生の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

○全国募集する学科

生物生産科／環境工学科／食品科学科

※詳しくは柏木農業高校ホームページをご覧ください。

○県外からの入学実績

令和5年度入学 1名

令和6年度入学 1名

柏木農業高校のオープンスクール、学校説明会、平川市の支援などの情報は、地域みらい留学ホームページや平川市ホームページをご覧ください。

柏農まっしぐら



柏木農業高校



地域みらい留学



平川市



柏農生が津軽弁の魅力発信

津軽弁マスキングテープを開発！

6月6日、柏農生が津軽弁マスキングテープのカプセル玩具を開発し、その自動販売機を弘南鉄道弘前駅と青森空港に設置しました。マスキングテープには津軽弁の文章とQRコードが印字されており、そのQRコードを読み取ると生徒が録音した音声を聞くことができます。生徒たちは「津軽弁の面白さが伝わって、人気商品になれば」と話しました。



商品の魅力をPR

くんせい 燻製チップを店頭でPR販売！

6月22日、柏農生がヒロ口2階「グリーンハウス弘前店」を訪れ、商品化した「SMOKE CHIPS」（廃棄されるリンゴ剪定枝を活用した燻製チップ）を店頭でPR販売しました。生徒たちは、他の燻製チップと比べてさっぱりしていることなど商品の魅力をPRし、「お客さんが実際に買って来て嬉しい」などと笑顔を見せていました。

有機栽培技術「BLOF理論」で 清水森ナンバづくりに挑戦！

6月6日、柏農生が農業法人(株)アグリーンハート（黒石市）の佐藤拓郎社長に有機栽培技術「BLOF理論」の「太陽熱養生処理」を学びました。この技術は、堆肥やミネラル系肥料と納豆菌や酵母菌を培養した培養液を活用して土作りを行うもので、生徒は肥料の他に納豆菌や酵母菌の培養液を散布して、マルチシートで覆いました。今後は一般的な方法との両方で清水森ナンバを育成し、収量や品質などを比較します。



米粉活用・米の消費拡大に向けて

「^{ぼく}柏っとメン」の講話を実施！

6月19日、柏農生が小和森小学校を訪れ、米粉専用米「あもりっこ」をもとに開発した米粉麺「柏っとメン」について、製造経緯などを講話しました。生徒は米の消費量が減っていることなどについて動画やクイズを交えて説明し、講話を聞いた5・6年生の児童たちは楽しみながらも関心を持って耳を傾けていました。